

## 二本の杖の預言

2013年12月27日 アシェル・イントレーター

エゼキエル 37:15～23 において、預言者は二本の杖を取って、一本には「ユダと、それにつくイスラエル人のために」、もう一方は「エフライムの杖、ヨセフと、それにつくイスラエルの全家のために」と書くように指示されました。そして、その二本を手の中で合わせました。それが意味することは、この二つの分断を癒やすことを象徴しています。このたとえはレア(ユダ)の子らとラケル(ヨセフ)の子らの分断から始まっています。そしてソロモンの後の世代に、国全体が分断され、南部は「ユダ」と呼ばれ、北部は「イスラエル」と呼ばれました。

この預言には、多くの霊的な適用があります。たとえば、1948年に現代のイスラエル国家は、「ユダ」ではなく「イスラエル」と名付けられました。世俗的なイスラエルは「イスラエル」を使う傾向があり、宗教的な人々は「ユダヤ」または「ユダ」を使う傾向があります。首相はしばしば世俗的そして宗教的、左翼と右翼の間に一致をもたらすのに苦労しています。

この聖書の箇所、ヘブライ語で「杖」は、「עץ(エツ)」すなわち、「木材」または「木」と同じ言葉です。この聖書の箇所はまた「二本の木を一つにする」という意味で理解することができます。これは、パウロがローマ 11章で異なった種類の枝がオリーブの木に接ぎ木される説明の背景を語っています。

ユダの杖には「イスラエルの子ら」が含まれ、その一方でヨセフの杖には「イスラエル全家」が含まれています。この「イスラエルの拡大家族」はまたパウロがエペソ 2:12 ですべての諸国からの異邦人信者が広域の「イスラエル連邦」の一員となると述べている事を示しています。

エゼキエル 37:25 では、二本の木または杖の一致(合体)は、地上におけるメシアの御国において永遠に成就されると述べています。この最終的な預言の完成は、イエシュアの再臨後千年王国で見いだすことでしょう。

このたとえは主の民の一致に対する神の望みを表しています。それは、預言者としてその一致のために執り成しをすることは、エゼキエルの仕事でした。悪の力が神の御国を分断しようとする霊的な闘い(ルカ 11:17)が続いています。すべての世代の神の民は二つの集団との裂け目に立って、右手にいる人々と左側にいる人々とを結び合わそうとしています。

二本の杖は、渴いた骨(エゼキエル 37章)についての預言、ゴグとマゴグ(38～39章)の預言、そしてメシアの御国(40～48章)の預言についての終わりの時の預言における重要な結合点です。神の御国の相反するように見える側面を結び合わせるために執り成しをすることは努力と忍耐が必要で、

多くの反対に直面するのです。私たちは二本の杖を手の中で一つにして握りしめ、エゼキエルがしたように霊において祈ろうではありませんか。

### 司祭のクリスマス論争

(2013年12月22日イエディオット・アハロノット誌 p24、前首相アリエル・シャロンの子であるギラッド・シャロンの記事から引用)

ひげが彼のアゴを覆っていますが、この司祭は若いのです。彼のするどい視線と燃えるような信仰は、彼の後ろにかかっている絵にある、十字架を背負う「神の御子」のようです。ガブリエル・ナダフ神父は彼の両肩にそれと似た重荷を負っています。それは、イスラエルに住むクリスチャンらをイスラエル軍に入隊させることです。彼のイスラム教の隣人たちは彼を憎み、何人かの彼のクリスチャンの隣人たちでさえ、彼のイスラエルに対する忠誠心ゆえに彼を拒絶しています。

クリスチャン(アラブ人)はここイスラエルにおいて少数派の中の少数派です。彼らはナザレにおいてでさえ少数派です。しかしイスラエルにおいて、彼らの環境は近隣諸国のものよりもましなのです。ベツレヘムにおいて、彼らは迫害されています。ガザ、エジプト、そしてシリアにおいて、彼らの環境は破滅的です。私たちの地域に住むクリスチャンは教育水準も高く成功していますが、常に迫害されています。彼らの周りのアラブ(イスラム教)世界の間では、彼らにとって未来はないのです。

クリスチャンが従軍できないという理由はありません。これはイスラエル社会の構成の一部なのです。彼らは高い質を持つ少数派であり、私たちは彼らを助ける義務があります。もしナダフ神父がイスラエルを選んだならば、私たちは彼を受け入れ、彼の共同体全体を私たちの心に暖かく受け入れる必要があります。

### 感謝します

私たちリバイブ・イスラエルのチームは今年、祈りや忠実に資金を提供して下さったすべての友人たちやパートナーたちに感謝の意を述べたいと存じます。私たちは非常に感謝しており、この新年に皆様方と共に進んでいく事に心躍らせております。

